

# 都会の月 夜景とともに

20日は「十三夜」。空が澄み、月や街のイルミネーションがくっきりと見える季節です。心地よい今だからこそ、月と都会の夜景が織りなすおすすすめスポットへ出掛けてみませんか。夜景評論家の丸々もおさんに紹介してもらいました。(塩見圭)

## 恋人の聖地 光きらめく



### 横浜

昨年リニューアルした横浜市の横浜マリントワー。高さ約1000坪の展望フロアでエレベーターが開くと、きらめく横浜の夜景に歓声が上がった。人気は観覧車などが見えるみなとみらい方面だが、丸々さんは山下ふ頭側の夜景を勧める。

眼下の高速道ジャンクションや古い倉庫群が、オレンジ色の光を放つ。曇りの日は雲に反射し、幻想的に見えるという。暖色系の光の上に白っぽい月が昇ると「自然と人工物が共演している違和感を楽しめる」そうだ。

「都会で月を見るなら、背景との組み合わせが大事」と丸々さん。空の色合いや雲の表情だけでなく、高層ビルや紅葉のライトアップなど別の何かと一緒に見ること、違った月見を味わえるという。月が昇り切ってしまうと背景がなくなるので、月の出の時間や方角を調べておくことが必要だ。



## 地平線望む展望台

●六本木 都心では珍しく、時間が合えば月の出が見られるという東京・六本木ヒルズの屋外展望台。周りに高い建物がなく地平線がほぼ見渡せるので、地上270mから街に昇る月を眺められる。

中秋の名月(9月22日)の際は観望会が開かれ、家族連れなど約450人が都心の夜景と月とのコラボレーションを楽しんだ。写真。広報の水口寿美さんによると、満月の頃はライトアップされた東京タワーと一緒に見ることができる。

次の満月の10月23日、晴れば午後6時から専門家が秋の夜空を解説(月の出は4時半ごろ)。52階のカフェでは月見限定メニューが登場し、月見酒を楽しめる(24日まで)。

●東京シティビュー「スカイデッキ」 港区六本木6の10の1、六本木ヒルズ森タワー屋上(六本木駅、☎03・6406・6652)。11時～18時。1800円。荒天時は閉鎖。

## 生活の気配に安心感

### 船堀

「生活感のあるほのぼのとした夜景がいい」と丸々さんが挙げるのは、東京・船堀のタワー。ホール船堀展望塔。映画館や会、議室が入る区の公共施設だ。

高さ115坪の展望塔は「高すぎず、リアリティーがある」という。速くに光り輝く高層ビル群が立ち並ぶ一方、眼下には生活の気配を感じる住宅街。マンションの上で浮かぶ月を見る「見守られているような安心感がある」と話す。

●横浜マリントワー 横浜市中央区山下町15(元町・中華街駅、☎045・664・1100)。展望フロアは10時～10時半(入場は30分前まで)。750円、中学生500円、小学生250円、幼児200円。



●丸々もおさんプロデューサー「ヒミツのスペシャル夜景ツアーin横浜」 11月19日金、丸々さんII写真IIの同行で秘密の運河や展望台を巡る限定イベント。1泊2万3千円。50人。要予約(先着)。詳細は問

い合わせを。☎KNTツリスト(045・641・1141)。

◇ まるまる・もとお 川崎工場夜景ツアーなどを手がけ、12月には「夜景検定」を実施。著書に最新刊「日本の夜景」など。45歳。

今年上京してきたという上原直美さんは、友人と訪れていた。「故郷の沖繩にはない光。東京の夜景は癒やしです」

●タワーホール船堀展望塔 江戸川区船堀4の1の1(船堀駅)。☎03・5676・2211。無料。